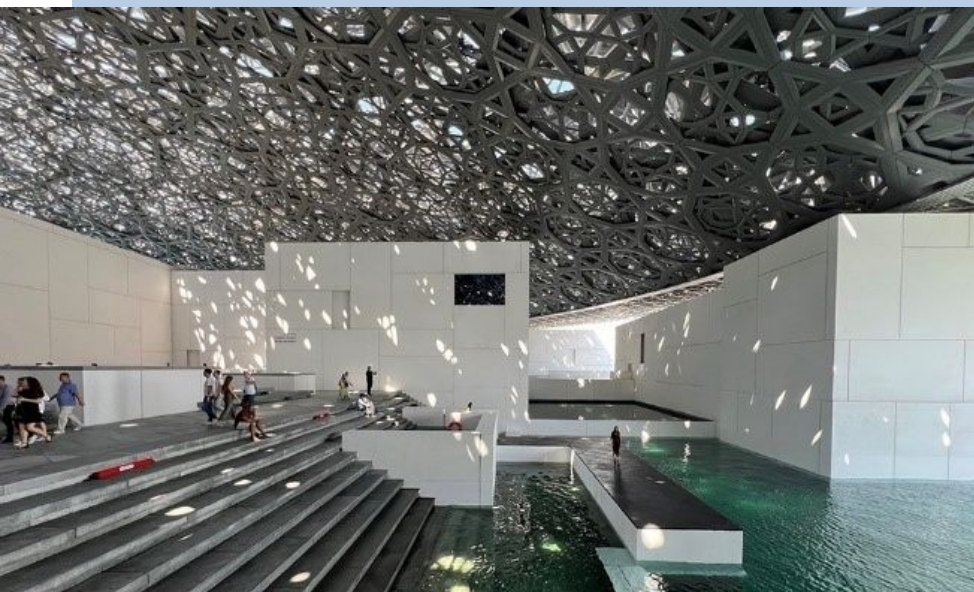


11 2024

JIA 近畿支部 住宅部会通信



目次

表紙写真

10月例会 ルーブル・アブダビ

例会報告

10/6～10/14 JIA 近畿支部住宅部会
10月例会

Information

24.10.6～10.14
JIA 近畿支部住宅部会
10月例会

担当世話人：梅原悟 眞野サトル

海外視察：

「中東の現代建築とアート視察」

[活動概要と目的]

2024年のJIA近畿支部住宅部会の海外視察は、コロナ後初の本格的な視察として、今急速に発展を遂げる中東の都市であるカタール(ドーハ)、UAE(ドバイ、アブダビ)を訪問しました。この視察の目的は、進化した現代建築やアートのダイナミズムを体験し、都市設計や建築への新たな視点を得ることです。また、現地のAIA(アメリカ建築家協会)中東支部のシンポジウムや視察同行を通じ、建築家同士が直接交流し、建築に対する相互理解と国際的な視野を広げる機会を設けることも重要な体験となりました。今回の視察は、JIA近畿支部が長年にわたり継続してきた海外視察活動の再開を象徴するものでもあり、総勢

18名の参加者が視察に加わりました。また支部の部会活動において、JIA本部の国際交流委員会の助成金を得て履行できたことも、今後の活動の幅を広げる上で重要な意義を持つことができました。

[実施内容]

視察は2024年10月6日から14日の9日間にわたり、主に以下の内容で実施いたしました。

カタール



エデュケーション・シティ・モスク

•カタール（ドーハ）：初日からカタールの首都ドーハにおける「Education City」エリアを訪れ、教育施設や現代の最先端の建築物、アートを視察しました。ダミアン・ハーストによる「Sidra Sculpture」や磯崎新の設計による「Qatar National Convention Centre」、OMA(レム・コールハース)が設計した「Qatar National Library」「Qatar Foundation Headquarter」他、エデュケーションシティにおける作品群は、歴史的なコンテキストが少ない中、シドラの木、マシュラビーヤ、牡蠣の貝殻といった現地で有名な自然のモチーフを用い、亜熱帯性乾燥地帯の環境に即したデザインがなされており、視察メンバーの多くに深い印象を与えました。さらにAIA中東支部のメンバーが視察に同行し、現地の文化や設計理念についての解説をしてくれました。また、砂漠にあるリチャード・セラの「East West / West East」や、ザハ・ハディド設計のアル・ジャノブ・スタジアムなども訪問し、中でも、I.M.ペイのイスラム美術館は世界中のモスクのリサーチにペイの独自の感性が加えられたモダニズムのモスクでした。展示室はジャン・ミッシェル・ヴィルモットがデザインし、明暗の対比が効果的な空間を、ジャン・ヌーベル設計の「カタール国立博物館」はデザートローズ（砂漠の薔薇）をモチーフにした視覚的にも空間的にもインパクトの強い建築であった。モニュメンタルなアートや建築を体感することで、現在の世界のアートや建築の状況を体感することができました。



カタール国立博物館

•ドバイ：ドバイでは、世界一の高さを誇るSOM設計の「ブルジュ・ハリファ」、独特な形状でアラビア語の書をまとめた「Museum of the Future」、さらに日建設計による「One-Za'abeel Tower」や、額縁を模したユニークな「Dubai Frame」など、建築的にインパクトのある超高層ビルやランドマークを数多く視察しました。視察中にはザハ・ハディド設計のOPUS ME Dubai Hotelで行われたAIA中東支部が主催するシンポジウムにも参加し、建築や都市に関する講演やパネルディスカッションを通して現地の建築家と交流し、意見を交わす機会もあり、国際的なネットワーキングを図ることができました。



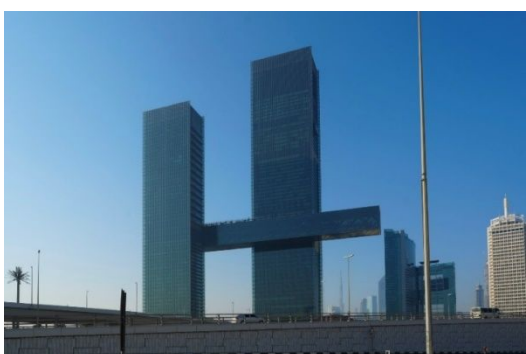
East West / West East

日建設計の現地オフィスでも、ドバイと「One-Za'abeel Tower」に関

UAE (ドバイ)



ブルジュ・ハリファ



One-Za'abeel Tower



パールジュメイラ

するレクチャーを受け、現地の風土、環境、設計に至る背景を聞くことで、その理解がさらに深いものとなりました。その他フォスター+パートナーズによる複数の作品、OMAの中東初作品である大規模リノベーション「アルカサーラアベニュー」、ドバイマリーナやパームジュメイラのアパートとホテル群、2020年の万博跡地であるエキスポシティを見学しました。

・アブダビ：アブダビでは、ジャン・ヌーベル設計の「ループル・アブダビ」や、デビッド・アジャイの「Abrahamic Family House」、現在建設中の「グッゲンハイム美術館」をはじめとした複数の大規模建築の現場見学をしました。特に「ループル・アブダビ」は、層状のドーム構造によって強い日差しを柔らかく制御し、下部に独特の「木漏れ日」空間を作り出していたのが印象的でした。また、砂漠の過酷な気候に適したデザインが随所に取り入れられており、快適性と美しさを兼ね備えた先進的な建築としての側面に、参加者たちは大きなインスピレーションを受けました。「Abrahamic Family House」はユダヤ教のシナゴーク、キリスト教の教会、イスラム教のモスクが併存する、始祖とも言えるアブラハムの名を冠した施設です。その今日的な意義、今後の世界への重要なメッセージとして感じさせるものでした。

[参加者の感想]

参加者からは、訪問した都市の特徴や建築に対する感想が多数寄せられました。ドーハとドバイは、比較的計画的で整然とした開発が行われ、近代的な建築とイスラム建築の伝統が融合した空間が多いとの印象を受けた一方、観光的な側面が強く、やや表面的な印象を感じる場面もあったと報告されています。特にドバイに関しては、建築が経済原理によって乱立しているため、視覚的な圧迫感を感じたという声もありました。反面、イスラム建築の伝統的なスクリーンや深い軒の採用など、建築における日射制御や気候対策が見事に実現されており、異なる地域文化圏における建築手法への理解が深まりました。

[中東建築におけるデザイン手法の学び]

中東地域では、亜熱帯性乾燥地帯、砂漠気候に適応した独自の建築手法が見られ、視察メンバーにとって非常に新鮮でした。具体的には、外部スクリーンや軒の設計、さらにはバッファークーゾーンの取り入れが効果的に活用されていました。例えば、「Burj Doha」「O-14」「アルバハール・タワーズ」等では外皮で直射日光を遮りながら自然な採光を取り入れるスクリーンが採用されており、外部環境に対応したデザインが際立っていました。

UAE (アブダビ)



シェイク・ザイド・グランドモスク



ルーブル・アブダビ前にて

また大きな軒を持つ「Qatar National Convention Centre」、D.チッパーフィールド設計の「The Ned」、フォスター+パートナーズによる「House of wisdom」など、大胆な構造形式のもと、建築への陰影、日射コントロール、気持ちのいい軒下空間を生み出していました。

「Qatar Foundation Headquarter」「ルーブル・アブダビ」などは、半外部空間をバッファゾーンとすることで、快適な屋内外の快適なエリアをつくりだしていました。厳しい自然環境と屋内空間のインターフェイスとして機能し、利用者の動線であるだけでなく、光や風の通り道となっていました。いずれも日本古来より通じる手法にもありますが、より厳しい自然環境下で先鋭的な表現として昇華されていました。

[まとめと感謝]

今回の視察では、AIA 中東支部の建築家の方々や現地のデザイン事務所 FOSC Studio の協力により、通常では見学が難しい施設も視察することができました。訪問先の建築は、それぞれが特徴的なデザインと先端技術によって構成され、中東建築の多様性と豊かさを再確認する機会となりました。JIA 近畿支部は今回の視察を機に、さらに国際的な視野を持ち、世界との交流を深めていくことを目指します。



ドバイ AIA 中東支部主催によるシンポジウムにて

Information

- ・ 12月例会 2024年12月4日(水) 18:30~20:30
@ミラタップ大阪ショールーム

「table04 発刊記念イベント」 広報委員会と共催
申込フォーム : <https://forms.gle/vA1GJyGfoy3Nr31v7>



- ・ 1月例会 2025年1月11日(土) 10:00~12:00
@綿業会館新館2階中会場
(仮)「住まいとまちの復興~
阪神・淡路大震災30年に寄せて」
講師:大月敏雄氏

- ・ 世話人会 2024年12月2日(火)16:30~17:30
@広渡建築設計事務所+ZOOM

近畿支部住宅部会 :

<https://www.jia.or.jp/kinki/category/iinkai/jyutaku>

住宅部会 HP :

<http://jia-kinki.org/jyutaku/>

住宅部会 FB :

https://www.facebook.com/profile.php?id=100064617584626&ref=embed_page

住宅部会Instagram :

https://www.instagram.com/japan_architects_kinki/